

(西尾市)

市町村の 基本情報	学校数	小学校 25 校、中学校 9 校、義務教育学校 1 校		
	地域学校協働活動推進員等の配置状況	統括的な地域学校協働活動推進員	0 人	
		地域学校協働活動推進員	1 人	
	状況	統括コーディネーター	0 人	
		地域コーディネーター	0 人	
	CS 及び地域学校協働本部設置状況	CS を導入している学校数	小 1 校	中 0 校
	地域学校協働本部がカバーしている学校数	小 0 校	中 0 校	



(活動の実際)

一色南部小学校では、平成 30 年度より、空き教室の有効利用を目的に、一色南部小学校空き教室利用活用運営委員会を発足し、空き教室の一室をコミュニティ広場と称して、毎月第 2 金曜日、第 3 木曜日に南小サロンを開催して地域の高齢者の集い場としてきた。

校舎内の一室にあるため、児童との交流も盛んに行われ、1 年生活科の昔遊びの講師をお願いしたり、特別支援学級の学習成果を発表したり、児童の自己肯定感、達成感を高める一助になっていた。

そういった地域との連携をさらに密接なものにするため、令和 4 年度より学校運営協議会の設置を検討し、令和 5 年度より活動が始まった。

学校運営協議会は、奇数月の第 3 金曜日に行われ、おもに学校が抱える問題に対して協議を進めている。そのために、「一南小お助け隊」を立ち上げ、多くの方への登録を呼びかけたところ、令和 7 年度には、63 名の方が登録し、活動していただいた。活動例としては、学校の南側にある学校園の活用がある。広い学校園のため、教職員が管理するには限界があったが、地域の方の協力を得て、サツマイモやタマネギ、ジャガイモを育てることができた。



今年度は地区の防災訓練・ふれあいフェスティバルで収穫したジャガイモやタマネギを使って防災カレーを地域の方に振る舞い、活動を知っていただく機会を得た。また、校庭に植えられているアジサイの剪定や花壇の手入れ、運動場の除草作業などの環境整備に伴う教職員の負担軽減とともに、児童の心安らぐ環境づくりや安全確保を補助している。

(◎成果と●課題)

- ◎学校の抱える問題を積極的に議論できる場、地域の方が学校現場を深く知る機会が増えた。
- ◎地域の方の経験を生かして学校に還元できるようになったことで、児童の教育活動の幅が広がった。
- 運営において、学校と町内会、PTA がさらに連携できるように、それぞれの問題点を学校運営協議会で話し合い、計画的に実践を進める必要がある。
- 予算を確保し、充実した地域学校協働事業が展開できるようにしていく。

(関係者の声)

- ・お助け隊の方と保護者の方が除草作業や花壇の手入れをしてくださったおかげで、学校がとてもきれいになった。(教員)
- ・これまで、学校内で教員が担っていた様々な活動を地域の方々に行っていただくことで、子供たちの活動が充実し、教員の負担軽減につながった。(教員)
- ・防災訓練やふれあいフェスティバルに参加し、学校や地域の活動に興味をもつことができた。自分も保護者として学校に何ができるか今後は考えていきたい。(保護者)

- ・家に独りであることが常であったが、お助け隊として参加することで、学校に来る機会が増え、楽しみが増えた。（お助け隊の方）
- ・地区の防災訓練では、学校やお助け隊の方の呼びかけで子供や保護者世代の参加が増え、地域の防災意識が高まってくることを感じた。（町内会）